



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
1月20日
発行

第164回

「2023年の3大テーマ」

～宇宙開発、脱炭素、安全保障に注目～

初めに

昨年は、インフレや金融引き締めなどが株式市場のテーマとなりました。いずれも歓迎できるものではなく、世界の株式市場も一年を通じて良かったと言える時期は少なかったと思います。これに対して今年も、宇宙開発や脱炭素の進展、安全保障などが大きなテーマになりそうです。今回は、自分が考える今年の3大テーマについてお話しします。

宇宙開発

まず宇宙開発。例としてあげたいのが「アルテミス計画」です。これは米国を中心とした月面着陸有人宇宙飛行計画で、日本や欧州、カナダ、オーストラリアなど様々な国が参加しています。人類が月面で生活すること、さらに最終的には人類を火星に送ることを目標としています。想像を絶するプロジェクトですが、既に宇宙旅行は民間企業によって実現しています。アルテミス計画も株式市場にとって壮大な好材料になると考えられます。

脱炭素

次に脱炭素。この動きは凄まじいスピードで進んでいるようです。この件に関する報道がない日はほとんどないと言ってよいでしょう。先日は、ANA、JALが、SAF（環境負荷の少ない航空燃料）の調達について、伊藤忠や米SAF製造会社と合意しました。また、海外で脱炭素を進めている住友林業は、熊谷組や飯野海運と共同で、米ダラスにおいて木造オフィスビルの開発を進めています。このように、脱炭素は日進月歩の勢いで進んでいます。今年の株式市場でも、引き続き大きなテーマであることに変わりはないでしょう。

安全保障

そして、最近になって突然浮上したテーマが安全保障です。岸田首相は日本の防衛政策の転換を宣言し、政府は今後5年間の防衛費を約43兆円とすることを決定しました。また、1月13日の日米首脳会談では、バイデン大統領に米国製巡航ミサイル「トマホーク」の導入を含む防衛力整備の方針を伝えました。この防衛政策の転換については、ウクライナ戦争の影響や中国の台湾侵攻を警戒する向きが増えていることなどから、世論調査では支持する声が多いようです。ただ、財源を増税に依存することには反対の声も多く、どのように決着するか分かりませんが、今年の株式市場にとって大きなテーマになるでしょう。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四條通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。